

梶田氏のノーベル物理学賞受賞の報を受けて

埼玉大学学生・教職員へのメッセージ

皆さんもご存じのとおり、2015年10月6日、本学理学部の卒業生（1981年物理学卒業）である梶田隆章氏のノーベル物理学賞受賞という大変喜ばしいニュースが飛び込んできました。本学初のノーベル賞受賞者輩出ということで、在学生からは喜びの声が聞かれ、また、卒業生や県内企業の方々からも沢山の祝いのお言葉を頂いております。このたびの吉報により、本学に対する社会からの期待の大きさを改めて感じることができました。

ノーベル賞受賞の対象となったニュートリノ研究の直接のきっかけは、東京大学大学院での小柴先生との出会いでしたが、梶田氏が4年間の大学生活を埼玉大学で過ごす中で、さまざまな学問、先生、友人と出会い、研究への思いを募らせてきたことは、在学生・卒業生のみならず、埼玉大学で働く教職員にとっても大きな誇りであり、自信へと繋がったと思います。

イノベーションの創出や地域社会への貢献等、大学に求められる使命は多様化していますが、知を継承・発展させ、新しい価値を創造するという埼玉大学の基本的な使命は変わりません。来年度から始まる第3期中期目標期間に向けて様々な改革が目まぐるしく進んでいますが、この基本を忘れずに、また、これからの改革が未来の第二、第三の梶田氏を生むことにつながることを願い、皆さんの理解と協力の下、埼玉大学をより一層輝かせていきたいと思っております。

2015年10月13日

埼玉大学長 山口 宏樹